

「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」

～県小学校での取り組み～

長野県飯田市立鼎小学校

28 学級 769 名

1 はじめに

本校は、長野県南部の伊那谷に位置する創立 139 年の歴史ある小学校である。都市化が進む一方で、自然への慈しみの心や人への思いやりなどがしっかりと受け継がれている地域である。

子どもたちは素直でのびのびと活動している。しかし、本校児童の歯の健康状態をみると、平成 22 年度は、乳歯・永久歯のう歯罹患率が 65.7%、このうち未処置者は 37.6%と、大変残念な結果になっている。

2 研究のねらい

「心豊かで、たくましい鼎の子」を教育目標にかかげ、学校、家庭、地域の結びつきを大切にして、「学び続ける子・よさを見つけられる子・明るく元気な子」を目指している。本校の実態から、「自分の歯や口に関心をもつこと」を第一に考え、「心身ともに健康な生活を目指して、自分の歯や口に関心もち、進んで歯・口の健康づくりに取り組もうとする子どもの育成」をテーマとし、活動に取り組んでいる。

3 これまでの取り組み

(1) 日常指導

水道場に子どもたちが描いたポスターを掲示し、歯みがきに対する意識向上を図った。



(2) 保護者との連携・啓発

参観日に親子染め出し体験を行った。幼児期は仕上げみがきをしていた保護者も、小学生になってからはほとんど子ども任せになっていたことに気づき、あらためて「寝る前の歯みがき」について考える良い機会となった。



(3) 地域・学校歯科医・歯科衛生士との連携

歯科衛生士さんにミュータンス菌の映像を見せていただき、染め出し体験やブラッシング指導を受けた。

